

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

盛夏の着物にトライ



1年で最も暑い季節7月、8月が巡って来ますと本格的な夏・盛夏の装いとなります。よく夏だけは着物は暑くて着ないという方々がありますが、反対に「夏こそ着物を着ます。夏の着物が大好きです」という方もいます。

あまり皆が着ない方の中に、夏の着物はどの季節よりも特に目立ちます。その魅力を知っておられる方は本当に着物好きな上級者の方なのかもしれません。

これからの和とくポイント

汗を止める/夏の素材.小物.長襦袢

汗をかくのがいやだと言われる方が多いのですが、不思議と着物を着ると汗が引込むことがあります。緊張感で毛穴が引き締まるためかと思いますが、実はそうではなく半側発汗という科学的な根拠があるそうです。

半側発汗法とは皮膚圧反射を利用した上半身の汗を抑える最も効果的な方法のひとつで、身体の片側に圧を加えると、反対の片側だけが発汗するという原理を利用したものです。

方法は簡単、両脇の下、第六肋骨にあたりから胸のあたり周辺を強めに圧迫すれば上半身の汗はかきにくくなります。

芸妓さん舞妓さんが、胸高に帯を締めて夏でも涼しい顔をして着物を着られるのは、その原理を利用しているからと言われています。顔の汗を抑えることで化粧崩れを防いでいるのです。

着物の素材は大きく分けて、絹では絹と紗になります。そのほかに麻で織られた上布、綿、芭蕉布などもあります。紬類も夏向きに薄く涼しく織られているのもあります。上布には代表的なものに琉球、越後、宮古、能登、八重山などが有名です。

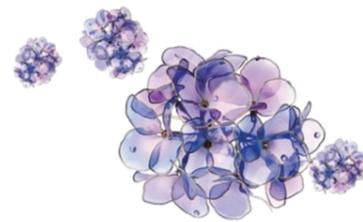
夏の着物に準じて帯の素材も絹綴れ、紗袋、絹や紗の染め帯、または夏向きに織られた、かがり帯などがあります。そしてもっと目の荒い羅という素材もあります。夏の生地は軽やかながらも張りのある生地が涼やかで好まれます。

帯締めも夏向きにレース風の物が涼しそうです。足元も夏足袋にして草履はあまり暑苦しくない雰囲気の色や素材、メッシュ風の物とか、パナマなどが涼しそうです。帯留めを付ける場合は夏の趣のあるものを、また荷物にならなければ日傘も夏らしくて良いですね！

襦袢は上布や紬類の着物であれば麻の襦袢が涼しいでしょう。やわらかものやよそゆきの着物の時に着る襦袢は絹が体に馴染み相応しいです。

注意することは、襦袢丈と着物との間に段差があるとおかしいので襦袢丈については衿の時期より気を付けて短くしすぎないようにして下さい。透けてしまうので要注意です。

夏こそお洒落な装いが出来ます。夏ならではの素材感、夏ならではの季節重視の柄を楽しめる事が出来ます。季節感を存分に楽しんで下さい。



今日もきもの気分

やしま呉服店からのお知らせ

6月の催事・イベント

- ◎和美散策展・・・2日(金)～4日(日)
- ◎月1キャンペーン・・・17日(土)～25(日)
・梅雨対策のご提案

※各詳細のお問い合わせはお店まで

カルチャー

- ◎ポーセラーツ教室・・・15日(木)



さくらきもの学院

5月開催「キモノの講座」はケーキバイキングで美味しく頂いた後にギャラリートークを聞き、着尺や帯地、生地、草履を教材に見て触って・じっくり観察できる点でも好評でした。

- ◎たくみの会・・・18日
和ソーイング「つまみ細工」



レッスンのお申込受付ます♪

- ・マンツーマンレッスン：初等科6回
- ・マイアップレッスン：10,000円/10回
- ・1dayレッスン：500円/回

※詳細はさくらきもの学院事務局まで



By: お藤